

事例紹介

地域人材育成事業 【農林水産分野】

岩手県では、農業従事者の減少や高齢化が進行する中、農業の担い手育成が急務となっている一方、農業を職業にしたいというニーズが増加していることから、農業技術・経営ノウハウの習得を支援する事業を行っています。

事業概要

岩手県の農業の担い手を集中的に育成するため、就農を目指す失業者を新たに雇用しながら、研修受け入れ農家等における実践的な技術・経営ノウハウ習得研修を実施することにより、自営による新規就農者を育成する。

委託先

(社)岩手県農業公社

新たな 雇用創出数

合計 19人

事業費

約6,518万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

業務内容

- 農業経営を開始することを目指している失業者・離職者・新卒者等(以下「就農予定被雇用者」)を採用し、就農予定被雇用者は、賃金を得ながら、県内の先進農家や農業法人等の研修受け入れ経営体などに通い、実際の農業生産現場において栽培技術や経営ノウハウを実践的に習得する。
- 就農予定被雇用者は、雇用期間終了後、県内において自営による農業経営を始める。

事業の公募

ホームページ等で募集



辞令交付式の様子

岩手県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

岩手県 0.38倍(季節調整値)



《(株)北一農のいちご技術担当の藤原さんから指導を受ける就農予定被雇用者 花坂さん(左)》

就農予定 被雇用者

自立した農業経営を学ぶため、ぶどう栽培で自立を目指し、研修に励んでいます。

農業公社の職員となっていることで生活が安定し、安心して研修に取り組めます。(研修中の高橋さん)

農業研修受入 指導農家の声

受入農家からは、「とても一生懸命です。三浦さんの生活がかかっていると、私も責務の重大さを感じています。」

作付け回転の速い ほうれんそう栽培に懸けています。徐々に他の品目の指導も受ける予定です。(研修中の三浦さん)

今後の姿と 課題

就農を目指して経営開始資金もある程度準備しているものの、研修期間中の収入・生活に不安があり、これまで本格的な農業研修に踏み出せなかった方の後押しとなることを期待しています。

岩手県農林水産部農業普及技術課

就農に向けた本格的な実践研修を行うためには、その間の生活(収入)をどうするかが課題であることから、この事業の活用により、ぜひ、夢を実現していただきたいと思います。

(社)岩手県農業公社(事業受託者)

新規就農を目指す方々が、自分の夢を実現させるため、真剣に研修しています。一人一人の事情と意見を丁寧に聞きながら、関係機関と連携し、支援していきます。



《富山さんからぶどう枝の誘引指導を受ける
就農予定被雇用者 高橋さん(右)》



《就農予定被雇用者三浦さん(右端)を受け入
れている長坂さんご夫妻。》



《就農予定被雇用者岩城さん(右)を受け入
れている有限会社かさい農産の葛西社長》

漁業振興を担うための地域人材育成事業【三宅島地区】【東京都】

事例紹介

地域人材育成事業

【農林水産分野】

三宅島は、2000年(平成12年)の噴火により全島避難を強いられましたが、2005年に帰島を果たし、復興に向けて村民一体となって取り組んでいます。島の復興のためには主要産業である漁業の復興が欠かせません。この事業を通じて、島の内外から意欲ある人材を集め、島の漁業振興を担うための各種研修を行います。研修修了後はぜひ、一緒に希望あふれる三宅島をつくっていきましょう。



三宅島漁業協同組合
関 恒美 組合長

事業概要

漁業協同組合が地域の失業者を雇用し、漁協職員によるOJTや外部研修等のOFF-JTを実施し、漁協職員として必要な技能・知識を習得させ、人材育成を図る。
(対象地域 大島、三宅島、八丈島、神津島、新島、父島、母島)

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

東京都 0.65倍(季節調整値)

委託先

三宅島漁業協同組合

新たな 雇用創出数

7人(1地区
当たり1名)

事業費

約2,520万円(平成22年度)
(1地区あたり約360万円)

事業の開始

平成22年6月～
平成23年3月

業務内容

失業者等を島しょ地域において雇用しOJTやOFF-JTの研修を実施し、地域の漁業振興を担う人材の育成を図る。

【OJT】

漁業経理、生産管理、水産加工技術、増養殖技術、鮮度保持技術等の研修を日常的に実施する。

【OFF-JT】

島しょ漁業振興を担うために必要な知識、技術の習得を目的とした外部研修の受講や資格取得

東京都三宅村



三宅島の 特色

三宅島は、東京から南に180キロの海上に位置する人口約2,900人の島です。黒潮があらう島の周りの海では、キンメダイやカツオ、イセエビなどの漁業が行われています。また、アシタバやレザーファンなど島の特色を生かした農業やダイビングなどの観光業も盛んです。



キンメダイ



研修生の板垣 大 さん

初めての仕事でとまどいましたが、島の皆様から叱咤激励されながら教えてもらっています。
早く仕事をおぼえて一人前になりたいです！



早朝5時。漁場へ向け出港です。
(中央手前が研修生の板垣さん)

今後の姿と課題



研修生の方には、漁協の業務を覚えるとともに必要な資格を取得してもらいます。将来は、漁業振興を担う人材として島に定着し、活躍してもらうことを期待しています！

東京都産業労働局農林水産部
水産課 伊藤主任



賑わいをみせる正月の阿古漁港

「京の農と森」未来を担う人づくり推進事業(農業)【京都府】

事例紹介

地域人材育成事業

【農林水産分野】

京都府における農林漁業の未来を担う人づくりを推進するため、「担い手づくりサポートセンター」が開設されました。

実地研修を行っていただく「就農・就業サポーター」のみなさんにご協力をいただきながら、この事業を活用して、多くの方に就農、就業していただき、将来の担い手として活躍されるよう、支援していきたいと考えています。



担い手づくりサポート
センター長
小倉 訓さん

事業概要

将来の地域農業の担い手となりうる人材を確保・育成するため、地域の農業法人や認定農業者を「就農・就業サポーター」として位置づけ、農業の技術習得を希望する方に実地研修等を行う。

委託先

社団法人京都府農業開発公社
(担い手づくりサポートセンター)

新たな 雇用創出数

50人

事業費

約12,300万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

京都府



業務内容

①「就農・就業サポーター」と連携して、農業の技術を習得するための実地研修

②農業技術や経営知識を習得するためのOFF-JT研修

③就業相談会開催等による就農、就業支援



サポートセンター開設式での相談会の様子

新規雇用の
みなさん

将来の地域の担い手を目指して、日々農業技術の習得に努力されています。



農業研修生
杉原さん

今は先輩方の作業に学びながら頑張っています。
将来は独立して、地域に貢献したいです！

就農
サポーター

若く、希望にあふれる研修生の受け入れは、法人の経営にもよい影響があるようです。

杉原君は学ぶことに喜びを得ているようですし、育てていくやりがいがあります。どん欲に経験豊富な先輩から技術を受け継ぎ、将来は地域の担い手として育ててほしいですね。



就農サポーター
((有)あつぷるふぁーむ)
山本さん

今後の姿と
課題

研修終了後も地域に根ざした農業を行い、地域の担い手として育ち、活躍されることを期待しています。
(担い手づくりサポートセンター 小倉センター長)



《(有)あぷるふぁーむ農場》

真剣に
作業中...



作業は大変ですが、
楽しいです。

農業への就業促進事業【奈良県】

事例紹介

地域人材育成事業 【農林水産分野】

せん定技術に代表されるように果樹栽培管理技術は身につけるのに特に時間がかかります。受け入れた5名の皆さんには、地道に着実に技術を学んでもらいたい。また、選果場にも連れて行き農業技術だけでなく出荷についても学んでもらいたいと考えています。



法人組合員の上西正晃さん

事業概要

研修を通じて農作物の栽培管理技術を修得し、産地の人材を育成する。

委託先

農事組合法人 西吉野オーチャド
組合員数18名

新たな
雇用創出数

5人

事業費

約1,553万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年6月～

業務内容

雇用期間中に法人所属の各農家をまわり、運搬車、草刈り機、乗用モア一、動力噴霧器、脚立やせん定バサミなどの農機具の使用方法について学びます。また、病害虫防除、せん定、摘果、施肥及び収穫などの農作業を通じて栽培管理技術を修得します。

地域雇用失業情勢
(有効求人倍率 平成22年5月現在)



奈良県 0.52倍

活動紹介

以前は会社員として働いていました。実家は兼業農家です。働き初めて1週間たちますが、これまで柿の誘引作業、梅の収穫、施肥を行いました。また、作業以外にも農家の苦労話も聞けて、技術だけでなくいろいろと学ばさせていただいています。農業はしんどい仕事だと思いますが、やりがいのあるものだと思います。契約期間は年度末までですが、その後も農業の業界で働きたいと考えています。



摘果方法の説明をしているところ

新規雇用者の柚木さん



今後の展開、課題等

修得した栽培管理技術や農業法人での就業経験を活かし、雇用期間満了後も農業法人に勤めるなど農業への就業につなげていく。

事例紹介

地域人材育成事業 【農林水産分野】

事業の目的

担い手不足が深刻な問題となっている農業において、農業分野に関心のある地域の失業者や未就職卒業生の新規人材を対象として、農業生産法人、農業参入企業等の指導による現地研修等を通じて作物の栽培技術、販売の手法等を取得してもらうことにより、新たな農業の担い手を育成する。

山口県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

宇部管内(H22.4月末) 0.46倍

事業概要

農業生産法人や農業に関連する事業を行う企業、NPO法人等が市との委託契約に基づき、失業者を一時的に雇用し、事業所(現地を含む)における研修や事業所外での研修受講等を行い、雇用、及び就農に向けた人材として育成する。

事業費

総額
1,500万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年5月～

宇部市では、提案公募により事業を実施する企業等を募集し、3事業者を選定しました。

委託事業者 の紹介

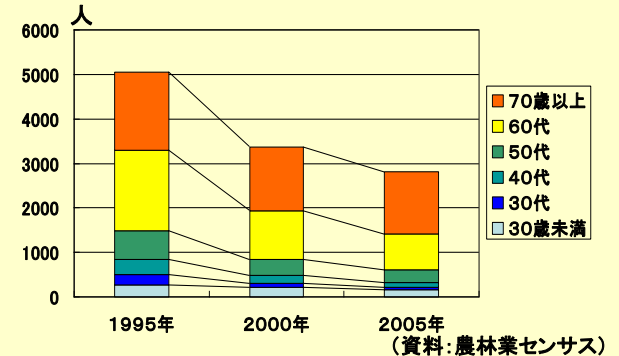
計6名
雇用創出

飯森木材(株)
平成18年11月 特定法人貸付事業により農業に参入

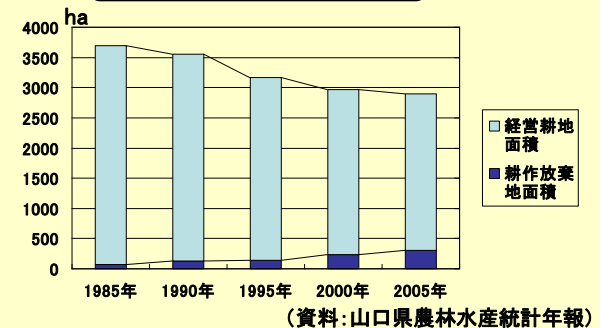
(有)長栄商事
平成22年4月企業として農業に参入

アグリ山口(株)
平成19年7月農業生産法人設立

宇部市の年齢別農業就業人口



宇部市の耕地面積



研修
作業風景



トマトの誘引作業
を行っています。



田植え機の使い
方を教わりました。

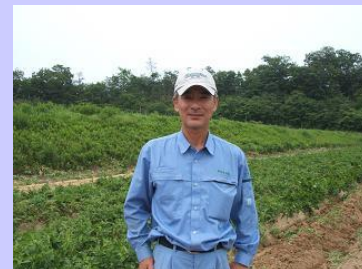
じゃがいもの収穫に加
え、にんにくの出荷、さ
つまいもの収穫も研修
していきます。

(有)長栄商事社長の声



いろんな農作業を覚
えて、長く働いていた
だきたいと思います。

飯森木材(株)社長の声



熱心に作業していた
だき、この事業に取り
組んでよかったと思
います。

雇用されて
いる方の声



草刈機の講習を受け、畦の草
刈作業も行いました。また、
農業に興味を持つようになり、
家庭菜園も始めました。



雇用契約終了後も引き続きこの
会社で働きたいと思っています。

事例紹介

地域人材育成事業 【農林水産分野】

地域林業担い手育成事業 【徳島県 海陽町】

林業従事者の減少と高齢化が深刻な問題となって来ています。本事業の委託を受け、森林を整備していく上に置いて必要な技術の研修や資格の取得、林業従事者としての安全教育を行い、研修終了後には、地域林業の担い手として活躍していただきたいと思っています。



事業概要

地域の失業者を雇用し、林業作業に必要な技術などの研修を行い、林業の担い手となる技術者の育成を行う。

委託先

海部森林組合
(徳島県海部郡海陽町吉野小松9-5)

事業費

約1,600万円 (平成22年度)

新たな 雇用創出数

3人

事業の開始

平成22年 4月～

業務内容

林業基礎研修(off-JT)による森林・林業についての基礎知識や林業作業の基本的な技術の学習

森林組合での現地研修(OJT)によるチェーンソーや架線集材などの林業作業に必要な技術の習得

研修終了後は、森林組合における林業の担い手としての雇用につなげていく

徳島県海陽町



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

徳島県 0.65倍(季節調整値)
牟岐管内 0.57倍(原数値)



林業の担い手を育成するために！

(地域林業担い手育成事業の研修実施状況)



○山林労務者(研修生)の感想

- ・ 林業に転職してから、体力的につらいですが、達成感があり充実した毎日を送っています。
- ・ 林業作業のすべてを一人前になれるようがんばります。
- ・ この仕事をして2か月ですが、山をよくしていき、海もよくしていき、住みよい町にしていきたいです。

事例紹介

子育て世代への地産地消・食育情報発信事業【香川県】

地域人材育成事業 【農林水産分野】

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

香川県0.74倍
(季節調整値)



これまで、市場での販売という仕事の中で、食の啓発とは別の領域で仕事をしていたように思います。

この事業を始めたことで、健康や地域の食文化を考えた、啓発を実施していきます。

今後も積極的に地域のつながりを大切にして、生産者から消費者までの距離を短くするよう努めていきます。



高松青果(株)

齊藤良紀代表取締役社長

事業内容

県産農産物の幅広い知識を身に付け、地産地消・食育推進のインストラクターとして料理教室やセミナー、イベント等を行うことにより、若い世代に対して重点的に地産地消情報を発信し、県産農水産物の消費拡大や農水産業に対する理解の推進を図る業務

事業先

高松青果(株)

新たな雇用 創出数

2人

事業費

約1,000万円(22年度)

事業開始

平成22年4月～

研修内容

実践的食育・地産地消人材育成

青果物流通販売人材育成

農業生産情報収集発信人材育成

子育て世代を対象とした料理教室、
セミナー等



以前は飲食店でアルバイトをしていたが、食材に携わることに興味を覚えたため、高松青果で働きたいと思いました。

これからは、一般の方に野菜や果物について興味を持ってもらえるよう知識をえて、情報を発信していきたいです。

新規雇用者の芝野拓也さん

現在の現状・課題と今後の姿

香川県産の野菜で生産量が全国有数の品目が数多くあります。日本人は野菜の摂取量が少なく、その中でも香川県は野菜の摂取量は全国平均を下回っています。特に若者の野菜離れは深刻です。しかし子育て世代では子どもに良い食事を与えたいという気持ちが強いです。

香川県ではそうした世代へ地産地消・食育を紹介する人材の育成が重要であると考え、本事業を行いました。



香川県農政水産部農政課
担当者:大川 俊彦 さん

実践的食育・地産地消人材育成の一環として、野菜ソムリエコミュニティかがわの会員と一緒に野菜農家に行つての現地研修



《野菜ソムリエコミュニティかがわの会員と一緒に野菜についての勉強》



《農家の方に野菜についての説明を受ける芝野さん》

事例紹介

地域人材育成事業

【農林水産分野】



愛媛県

事業概要

愛媛県では、森林・林業・木材産業の活性化に向けて、高度な技術を発揮しうる人材を幅広く養成しており、まだまだ地域に眠っているやる気のある希望者に対して、各種資格の取得や職業訓練を行いながら人材を発掘し、次代に継承できる森林の造成と林業の復興を目指しています。

委託先

愛媛県森林組合連合会

新たな雇用創出数

5人

事業費

2,100万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の 有効求人倍率)

平成22年4月 愛媛県 0.59倍(季節調整値)

活動状況の 紹介

●職業訓練

- ①森林測量・計測
- ②森林整備(下刈、枝打ち、伐採、搬出等)
- ③原木販売(市売り、精算等)
- ④木材加工(製品加工、施工等)
- ⑤しいたけ販売(集荷、選別、市売り)
- ⑥緑化(緑化樹市売、庭木管理等)

●専門研修

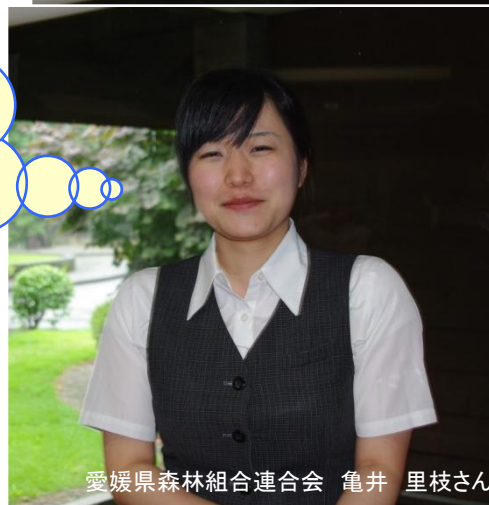
- ①資格取得(チェーンソー、刈払い機、玉掛け等)
- ②森林・林業の基礎知識
- ③造林・育林・伐採技術
- ④林業機械
- ⑤コンパス、GPS測量



一般の林業技術者養成研修に交じって基礎的な技術を習得しています。

私がお手伝い
をさせていただ
いています。

訓練生の声



愛媛県森林組合連合会 亀井 里枝さん



時々、参加させてもらっています。皆さんに和んでいただければありがたいですね。



林業といっても幅が広いですね。



体力仕事が多いと思えば、緻密な面もありますね。



事務局から

この事業により、より多くの人材が林業の現場で活躍し、森林・林業に活気が戻ることを期待しています。

若い方をはじめ、林業に携わってみようという方々には、経験豊富な者が指導いたしますので、頑張ってくださいと思います。

愛媛県森林組合連合会 総務部長 矢野 勉 さん



事例紹介

地域人材育成事業

【農林水産分野】

弊社は、平成20年11月11日にそばの生産者で設立した会社です。特産の豊後高田そばを広くPRするため、製粉作業や土産品(乾麺等)の卸し、販売業務を行っています。本事業により、新たなマンパワーも確保され、加工事業の安定生産も期待されます。事業終了後も雇用の継続を基本に考えています。



豊後高田そば株式会社
代表取締役 三角啓二さん

事業概要

市特産である「豊後高田そば」の製粉技術を修得し、市内認定店に安定供給をめざす。

委託先

豊後高田そば株式会社
(豊後高田市城前1548)
従業員数4人

新たな 雇用創出数

3人

事業費

約520万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

大分県



豊後高田市

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

大分県 0.53倍(季節調整値)
宇佐高田 0.49倍(原数値)
管内

業務内容

豊後高田そばの製粉技術の修得
製粉技術修得に係るそば打ち講習(技術の修得)

製粉技術修得に係るそばの栽培実習
新規取扱い店舗開拓に係る営業研修

豊後高田そばPRに係るイベント活動



農業・観光・商業・雇用の一体的振興策
として取り組みを進める豊後高田そば

新規雇用者の声



『そば』がまちづくり、人づくりの
“つなぎ役”

(早田重治)

以前は、精密機械の会社に勤務するエンジニアでした。そばの製粉は、簡単だと思っていましたが、やり始めるとなかなか奥の深いものです。お客様(手打ちそば認定店)に良質のそば粉を安定して供給できるよう頑張ります。

(河野千代美)

子育てが一段落したため「何か仕事はないだろうか」とハローワークに行き、この仕事を見つけ、応募しました。そばはもちろん農業も経験がなかったので、不安はありましたが、社長を始めスタッフみなさんの丁寧な指導により仕事にも慣れました。正社員目指して頑張ります。

(神田健志)

福祉系の大学に通っていましたが、地元でそば屋を開業したいと一念発起し、まずは、豊後高田そばを学ぶため、応募しました。製粉作業の傍らそばの栽培やそば打ちまで研修でき、開業に向けて夢がふくらみます。



《農村風景を彩る純白のそばの花》

研修効果

そばの製粉作業については、これまで生産者(農家)が農作業の合間を縫って行ってきた。このため、年末や新そば時等の特需期には、実需者ニーズに100%対応できない場合もあった。今回の研修により、安定したそば粉の供給が可能となり、事業(研修)終了後も継続して雇用できる体制が整備された。

『豊後高田』と『そば』

「昭和の町」や「仏の里」のイメージとあう食材として、そばの作付けを平成15年からスタート。初年度より作付け面積が県内一となり、その後も年々規模を拡大し、九州を代表する産地の一つへ。さらに消費を拡大するため、そば打ち職人を養成し、手打ちそば屋も増加中！



《待望のボンネットバス復活！》
『豊後高田昭和の町』